

南部中学校図書館 読書活動の紹介

約1万3,000冊の蔵書がある南部中学校図書館。町内の学校図書館と町立図書館をつなぐ学校間相互貸借システムで豊富な書籍、また資料を手にとることが可能です。学校図書館には自由な読書活動の場である「読書センター」、自発的・主体的な学習活動の支援、情報の収集・選択・活用能力を育成する「学習・情報センター」としての機能があります。南部中学校でも、その機能を果たすべく整備・運営しています。

日々の授業や部活動など様々な活動で忙しく、図書館に足を運ぶ機会も少なくなってしまう中学生。そんな南中生に読書や本に興味を持ってもらうために、図書委員会が中心になって様々な活動を行っています。

<ビブリオバトル>

「ビブリオバトル」とは、直訳すると「本の戦い」です。どこでも、だれとでも出来る、本を使った簡単な紹介ゲームのことで、全国でも様々な図書館や学校などで開催されています。

南部中学校では、図書集会の中でビブリオバトルを開催しています。自分が普段手に取らないジャンルの本を知ることができ、また読書が得意ではない生徒にも「読んでみたい」と思わせてくれるバトル（発表者）の発表は、見ているだけでも楽しめます。紹介された本は図書館内に展示され、多くの生徒が借りていきます。



[ビブリオバトルの簡単ルール説明]

- ①発表参加者が、読んで面白かった本を持って集まる
- ②順番に1人5分間で本を紹介する
- ③それぞれの発表のあとに、参加者全員でその発表に関するディスカッション（質問など）を2～3分行う
- ④すべての発表が終了したあとに「どの本が一番読みたくなったか？」を基準に参加者全員が1人1票で投票し、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする



<図書読（としよどく）>

南部中学校では毎朝8時20分から30分までの10分間、各教室で「朝読書」を行っています。どこか忙しい朝の空気。その時間に本を読むことで心が落ち着き、また読書の習慣付けにも繋がっています。

そんな朝読書の時間を利用し、普段ゆっくり図書館内を見てまわることがなかなか叶わない南中生に、学級ごとに日を決めて図書館で本を読む、「図書読（としよどく）」という取り組みを今年度より始めました。図書館には多くの蔵書があることを知ってもらい、今後の読書生活に活かせるよう、継続して行っていきます。

